

12月 すてっぴ

アスカーラとは 大野城まどかぴあ男女平等推進センターは、平成 25 年 4 月 6 日(土)のリニューアルオープンに伴い、愛称を募集しました。アス+スカーラの造語で、アスは明日・未来の意味で、スカーラはイタリア語で、階段やはしごの意味。明日に向かって、みんなで1歩ずつ階段を上がっていくように男女平等を推進していきましょうという意味です。これからは、アスカーラと呼んでください。



平成 27 年度
まどか
フェスティバル

たくさんの笑顔を
ありがとう



11月7日(土)大野城まどかぴあ1階ギャラリーモール特設会場にて

▼CONTENTS▼

- ・事業レポート「親子と託児サポーターとの交流会」
「市民グループ活動支援事業 ネットワークセミナー 地域で参画していく力を学ぶ」
- ・アスカーラ 講座・イベント案内
- ・キッズルームでこんにちは
- ・ご存知ですか? 「7.8%」
- ・相談室のご案内
- ・ひとりごと
- ・今月のアスカーラ

親子と託児サポーターとの交流会

日にち:10月5日(月)

企画および運営:

大野城まどかぴあ託児サポーター“ママ・ポケット”

お出かけするには気持ちの良い季節。今日は毎年恒例の託児サポーター“ママ・ポケット”とまどかぴあ託児を利用&利用予備軍の親子との交流会が行われました。まどかぴあ1階の多目的ホール前には、ベビーカーがズラリ。受付あたりでは、場所見知りなのか大声で泣いたり、中の様子をそっと覗く好奇心満々の子どもたちで大賑わいでした。

こちょこちょニコニコ

会場でのお出迎えは、壁一面のSLマンに乗ったあんばんまんファミリー。みんな大喜びで、壁のバタ子さんに抱き着く子もいました。



託児サポーター“ママ・ポケット”代表の口田さんのご挨拶の後は、いよいよプログラム開始。手遊びの♪いっぽんばし こちょこちょ♪では、ママにこちょこちょされてみんな大騒ぎ。上手にグーパーグーパーできたら、次は♪むすんでひらいて♪です。



まだママに抱っこされっぱなしのバブちゃんから、ここではおねえちゃん格の5歳児さんまで笑顔が弾けます。

大型絵本の読み語りでは、いつもよりずいぶん大きな絵にびっくり。目を大きくして一生懸命聞いていました。サポーターの「お子さんをギュッとしてあげてください」の声にみんなでギュッ。ママに抱きしめられた子どもたちの嬉しそうな顔に『すね毛』の生えた子どものママである私も、なにやら胸がほんわかと。

この後も、「とんとんとん、だれのお家？」のエプロンシアターやふれあい体操と楽しいプログラムが続きしました。聞けば、この交流会を行うために、“マ

マ・ポケット”の皆さんは、何回も何回も準備や出し物の練習のために集まれたとか。子どもたちの年齢構成がばらばらなので、さぞかし演目のチョイスには頭を悩ませたのでは？子どもたちに喜んでもらおう、ママたちにゆっくり子どもと遊んでもら



おうと、いろいろな工夫がされている素敵な催しになっていました。そうそう、二人以上の子どもを連れたママには“ママ・ポケット”のサポートという配慮もありました。下の子がいて、なかなか上の子にかまってあげられないママも、この時間だけは、お兄ちゃんやお姉ちゃんとゆっくり遊べたのではないのでしょうか。

いなしいなしい…ばあ(*^_^*)

手作り工作キットが参加者に配られ、「つくって遊ぼう！」の始まりです。今日は、二つに繋げたティッシュの箱に、アンパンマンのイラストを貼ります。中合わせにしたら、アンパンマンが隠れて、開いたら「ばあ」と出てきます。子どもたちも小さな手で、一生懸命、両面テープをはがしたり、はったり楽しそうです。

「出来上がる過程が興味深かったようで、完成したときは大喜び。工作なんてムリと思って、家ではさせなかったけど、子どもでもできることをさせればいいですよね。」と話すママも。その発見が子どもを大きくするんだろうな。



最後はみんなで輪になって「にんげんっていいな」を歌って踊りました。最初は泣いていたあの子どもにっこり「バイバイ」と手を振っていました。ゆっくりとした時間を楽しんで帰るママと子どもたちに「さようなら、またね」と声をかける“ママ・ポケット”の皆さんの優しい笑顔が、本当に素敵でした。

(情報サポーター ありたん)

アスカラ主催講座のご案内

あっとい間に師走を迎え、今年もあつたわずかとなりました。
今年もアスカラに足をお運びいただいたみなさん、ありがとうございました。
よいお年をお迎えください。そして新年からもアスカラをよろしく申し上げます！



● しあわせになるために できること

日時・会場	内容	講師とテーマ
1/29 (金) 18:30~20:00 多目的ホール	ドラマや映画で話題の「はなちゃんのみそ汁」の原作者、安武信吾さんをお招きして、トークショーを行います。ちょっと立ち止まって、自分のこと、家族のこと、いろいろなこと考えてみませんか。	講師：安武 信吾 (西日本新聞 企画開発部) 林田 スマ (大野城まどかぴあ 館長) 対象：興味関心のある方 参加料：無料 

● 平成27年度 アスカラ市民グループ活動支援事業

1/30 (土) 13:30~15:30 202 会議室	 子どもは未来からの留学生 ～私たちはどのような風景を 子どもたちに見せればいいのか～	講師：波平 恵美子 (お茶の水女子大学 名誉教授) 定員：30名 (先着順) 対象：興味関心がある方 参加料：無料 <主催> 男女平等社会の実現を推進する「チームF」 
------------------------------------	--	--

● 子育てママ応援事業「育休カフェ&トーク」

 ① 2/6 (土) 301 会議室 ② 2/13 (土) 306 会議室 13:30~15:30 	育児休業中は24時間子育て中心の毎日。職場に復帰したら、仕事と家事育児を両立できるかどうか不安に感じていませんか？ 育休取得者の経験談のほか、ワークショップや育休取得についての情報交換ができる交流会も行います。 職場復帰へ向けて前向きな気持ちになれるようサポートします！	① 「育児も仕事も楽しく続けるために」 講師：中山 淳子 (NPO 法人ママワーク研究所 理事) ② 「私たちも育児休業取得しました！ ～先輩育休ママからのメッセージ♪～」 コーディネーター：中山 淳子 体験談：松田 理恵 (株式会社OSG コーポレーション) 床次 直子 (西日本新聞社 記者) 太田 浩一郎 (毎日新聞社 記者) 定員：30名 (先着順) 対象：育休中のママ・パパ、育休取得前後の方、または関心のある方 参加料：無料
---	--	---

● 男性のための これからのライフスタイルセミナー

① 2/6 (土) 301 会議室 10:30~12:00 ② 2/13 (土) 調理実習室 10:00~13:00 	定年退職後のセカンドライフを元気で充実させるための講座です！ 1 回目は、現代の子育て世代を取り巻く社会背景を学び、子育てや地域社会で中高年男性だからこそできることを探ります。 2 回目は「健康寿命」をテーマにした調理実習を行います。	① 「男性も出番ですよ！ イマドキの孫育て・地域子育て事情」(仮) 講師：小崎 恭弘 (大阪教育大学教育学部准教授) ② 「自分でつくる健康寿命」(仮) 講師：大部 正代 (中村学園大学栄養科学部教授) 定員：30名 (先着順) 対象：中高年男性 (定年退職前～団塊の世代) 参加料：無料
--	---	---

講座、イベント等のお申し込み・お問い合わせは
★男女平等推進センター アスカラ★

〒816-0934 大野城市曙町2丁目3番1号

TEL (092) 586-4030 FAX (092) 586-4031

ホームページ <http://www.madokapia.or.jp/>

開館日時/月曜日～金曜日 9時～19時 土・日・祝日 9時～17時

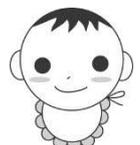
閉館日/第1・3水曜日 年末年始/12月28日～1月4日

右下のマークのある講座・イベントは
託児が利用できます。
開催日の1週間前までにお申し込み
ください。

・1人1回300円

・10か月～

小学校就学前まで



アスカラ市民活動支援事業

ネットワークセミナー

「地域で参画していく力を学ぶ」

日にち:10月31日(土)

講師:古賀 桃子さん

(NPO 法人ふくおか NPO センター 代表)

世代を超えて地域で女子力を!

私たちが暮らす「地域」には最近、昔は考えられなかったような、新しく、難しい次のような課題が多く出てきています。

☆デート DV・高齢者や子どもなど多世代にみられる虐待、暴力

☆外国人による犯罪

☆PM2.5などの環境汚染

☆リーマンショック以降多くなった若者の貧困・ホームレス

☆日本語がわからなくて孤立する外国人との多文化共生

☆若者が加入しない地域コミュニティの崩壊などなど……。そこで、地域住民自身が、かかえている課題を解決して、一人ひとりが地域と緩やかにつながっていくにはどうしたらいいのかを考えることが重要といえます。

講師は、NPO 法人ふくおか NPO センター 代表の古賀桃子さん。学生時代から地域コミュニティ活性化の活動に携わっています。今回は、[草の根から、社会を描く。]を合言葉に、日々NPO に関する相談や研修に忙しく毎日をごさされている、古賀さんと共に前述について考えました。



柔軟なパワフルさ!
笑顔の素敵な古賀さん

実の親からの保護や養育を受けられない子どもたちを、愛情あふれる家庭環境で養育する活動をしている**子どもの村福岡**(福岡市西区)。

青色回転灯を装着した自動車を使用した地域巡回型の防犯活動をしている、**御笠青色パトロール隊**(筑

紫野市御笠地区)。

日本語教室やシェルターなどアジアの女性に寄り添い、ともに歩む**女性エンパワーメントセンター福岡**(福岡県内)。

そのいきいきした活動の共通点は、

○わかりやすさ(ネーミングで想像できる団体名、事業名)

○人を尊重する姿勢(みんながイキイキ笑顔)

○マネジメント(適材適所)

そして、いきいきした人の共通点は

●心・・・仲間ありき(和)

●技・・・学びありき(学習・研修)

●体・・・身の丈ありき(時間も体も自己管理)

だそうです。

次にグループワークを実施しました。

ワークの題は「さまざまな人が地域に参画するために



出来ること」でした。各グループの話し合いは、マジック片手に模造紙を前にずいぶん白熱していたようです。最後にグループで話し合ったことを発表し、それぞれがいろいろな思いを胸に耳を傾けました。

私たちみんなが地域を安心・安全に!

私がこの講座を取材して感じた事は…。「参画」は「参加」とどう違うのでしょうか? 参加が単に行動を共にすることであるとすると、参画は自分から行動を起こすことではないでしょうか? まず一人ひとりが誰かを誘い、疑問や課題について学習し、自分の出来る範囲で活動することから始めたらよいのでは? その先に、みんながイキイキと暮らす安全・安心な地域が実現するのではないのでしょうか?

(情報サポーター 森)

<NPO 法人ふくおか NPO センターとは…>

NPO の設立・運営に関する相談や団体の広報 PR の手伝いなどの「コンサルティング」、人材育成事業の提案、NPO の企画力・専門性を活かした商品の開発など「プロモーション」を行う。最近では、企業や行政からの相談、研修依頼も増加し、社会貢献活動や市民活動の充実を図る。



12月の男女平等推進センター

日	曜	予 定
1	火	
2	水	休館日
3	木	ヘルシーエクササイズ⑳
4	金	建設業経理㉑ パパ・ママのための読書タイム
5	土	パパ・ママのための読書タイム
6	日	
7	月	建設業経理㉒
8	火	啓発サポーター定例会
9	水	ままいる「塩と塩麹講座」 建設業経理㉓
10	木	ヘルシーエクササイズ㉔
11	金	建設業経理㉕ パパ・ママのための読書タイム
12	土	パパ・ママのための読書タイム
13	日	
14	月	託児サポーター定例会 建設業経理㉖
15	火	
16	水	休館日
17	木	ヘルシーエクササイズ㉗
18	金	建設業経理㉘ パパ・ママのための読書タイム
19	土	パパ・ママのための読書タイム
20	日	
21	月	建設業経理㉙
22	火	
23	水	
24	木	ヘルシーエクササイズ㉚
25	金	建設業経理㉛ パパ・ママのための読書タイム
26	土	パパ・ママのための読書タイム
27	日	
28	月	休館日
29	火	休館日
30	水	休館日
31	木	休館日



相談のご予約・お問合せは・・・
☎092-586-4035

☆大野城まどかぴあ 相談室のご案内 ☆

全て相談は無料です。

まずはお電話でお問い合わせください。

■総合相談■ 月曜～金曜 9時～17時

※土・日・祝日と休館日はお休みです。

面接相談（要予約）と電話相談ができます。

■臨床心理士による相談■ 火曜・木曜 月4回

面接相談のみ。予約してください。

生き方、夫婦・親子関係、対人関係、仕事のこと、DVの相談など、気持ちの整理をしませんか。

臨床心理士が相談を受けます。

<今月の相談日程>

12月1日（火）、10・17・24日（木）

■法律相談■ 毎月第1～4木曜日 13時～16時

面接相談のみ。予約してください。

弁護士が相談を受けます。

■おしごと相談■ 毎月第2水曜日 10時～12時

面接相談のみ。予約時に①か②をお申し出ください。

①男女不問：賃金未払いや雇用形態、セクハラ等、仕事の事なら何でも労働相談員が受けます

②再就職を目指す子育て中などの女性：就職全般の相談を就業アドバイザーが受けます

ひとこと

近年、「ダークツーリズム」なる言葉を耳にする。1990年代に英国より広まったらしい。戦争や災害、事件など歴史的に悲劇のあったゆかりの地を巡り、人々の死を悼み、過去から教訓を学ぶ旅のことである。物見遊山や買い物を楽しむそれとは違い、心が重くなる場面も数多くあるのではないかと思う。ヨーロッパや米国では一般的らしく、日本でも最近専門誌が発売された。修学旅行で長崎や広島を訪れるのもこれに類すると思う。

そこで、元来旅好きな私は、来年の行動目標の一つ思いついた。「福岡市周辺進駐軍接收建物巡り」である。最初に訪れたいのが、大壕公園の北側に建っている茶色いタイル貼りの西洋式建物。旧福岡地方簡易保険局の庁舎である。ここは、1950年代の朝鮮戦争時代には野戦病院として、進駐軍に接收されていたと聞く。朝鮮戦争を題材とした映画の中に、何回か登場しているビルでもある。



(情報サポーター 倉町 賢一郎)

*進駐軍・・・日本では太平洋戦争敗戦後、我が国へ進駐して来た連合軍のことを云う。占領軍と同意語で主に米軍を指す俗語

<編集>男女平等推進センター 情報サポーター

<発行>大野城まどかぴあ男女平等推進センター アスカール

〒816-0934 福岡県大野城市曙町 2-3-1 ホームページアドレス <http://www.madokapia.or.jp/>

TEL/092(586)4030 FAX/092(586)4031 相談専用電話/092(586)4035